

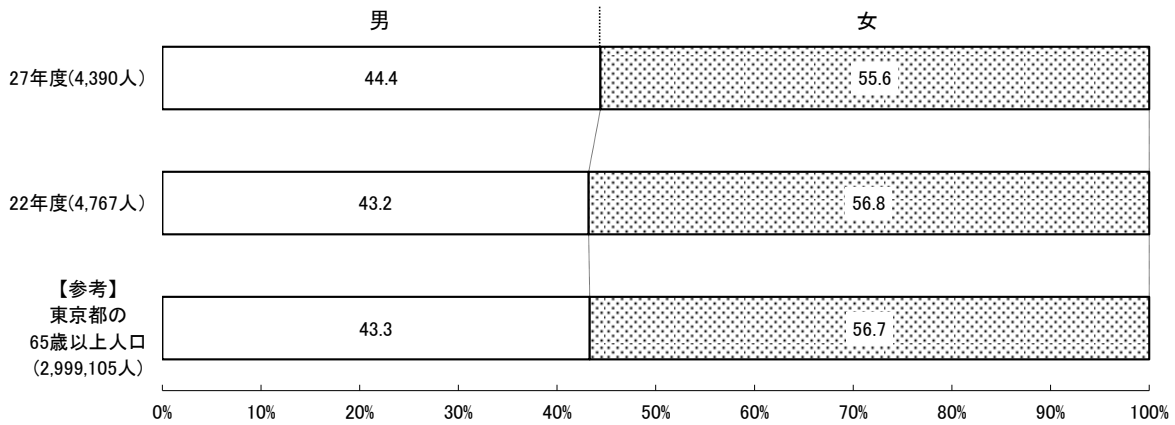
第 2 調査結果の概要

第1章 調査対象者の基本的属性

1 性別

本調査集計対象者の性別は、男性 44.4%、女性 55.6%である。(図 1-1)

図 1-1 性別



【参考】

東京都の65歳以上人口は、「住民基本台帳による東京都の世帯と人口（平成28年1月1日）」（総務局）

2 年齢階級

平均年齢は、74.8歳である。年齢階級は、前期高齢者が53.7%、後期高齢者が46.3%である。(表 1-1)

性別で見ると、男性は、前期高齢者の割合が57.2%、後期高齢者の割合が42.8%で、前期高齢者の割合が14.4ポイント高くなっているのに対し、女性は前期高齢者50.9%、後期高齢者49.1%で、ほぼ同じ割合となっている。

表 1-1 年齢階級－性別

	総数	65～69歳	70～74歳	(再掲) 65～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	(再掲) 75歳以上	平均(歳)
27年度	100.0 (4,390)	28.7	25.0	53.7	21.2	14.9	10.2	46.3	74.8
男	100.0 (1,949)	31.3	25.9	57.2	21.4	13.0	8.4	42.8	74.1
女	100.0 (2,441)	26.5	24.4	50.9	21.1	16.4	11.6	49.1	75.3
22年度	100.0 (4,767)	27.4	25.9	53.3	22.4	14.6	9.8	46.7	74.8
男	100.0 (2,057)	30.4	27.5	57.9	21.7	13.0	7.4	42.1	73.9
女	100.0 (2,710)	25.0	24.8	49.8	22.9	15.8	11.5	50.2	75.4
【参考】東京都の65歳以上人口	100.0 (2,999,105)	28.9	23.2	52.0	19.3	15.1	13.6	48.0	-
男	100.0 (1,298,828)	32.6	24.6	57.2	19.3	13.9	9.6	42.8	-
女	100.0 (1,700,277)	26.0	22.1	48.1	19.3	16.0	16.7	51.9	-

注) 65歳から74歳までを「前期高齢者」、75歳以上を「後期高齢者」という。

3 地域

居住地域は、区部が 65.1%、市町村部が 34.9%である。(表 1-2)

表 1-2 地域

	総数	区部							市町村部	西多摩	南多摩	北多摩西部	北多摩南部	北多摩北部	島しょ	
		区中央部	区南部	区西南部	区西部	区西北部	区東北部	区東部								
総数	100.0 (4,390)	65.1 (2,860)	5.7 (249)	7.6 (334)	9.5 (418)	9.5 (416)	14.4 (630)	9.6 (421)	8.9 (392)	34.9 (1,530)	3.5 (152)	11.2 (491)	6.1 (268)	7.1 (311)	7.0 (308)	- (-)
該当地区			千代田区、中央区、港区、文京区、台東区	品川区、大田区	目黒区、世田谷区、渋谷区	新宿区、中野区、杉並区	豊島区、北区、板橋区、練馬区	荒川区、足立区、葛飾区	墨田区、江東区、江戸川区		青梅市、福生市、羽村市、あきる野市、瑞穂町、日の出町、檜原村、奥多摩町	八王子市、町田市、日野市、多摩市、稲城市	東大和市、武蔵村山市	立川市、昭島市、国分寺市、国立市、小金井市、狛江市	武蔵野市、三鷹市、府中市、調布市、西東京市	小平市、東村山市、清瀬市、東久留米市、伊豆諸島

注) 本調査の調査地区で、「島しょ」の該当はない。

第2章 家族

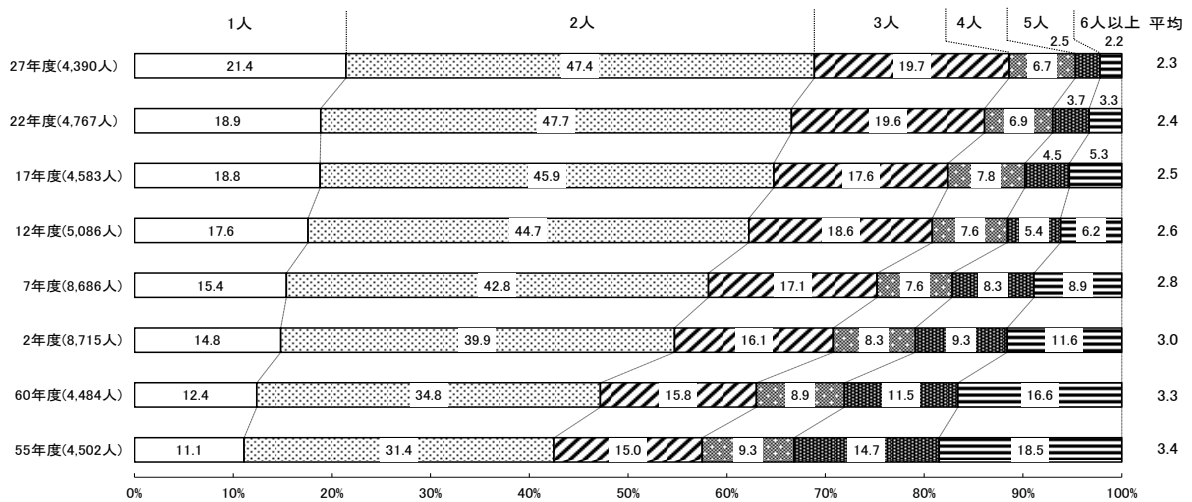
1 世帯

(1) 世帯人員

世帯人員の平均は2.3人で、昭和55年度調査開始以来、減少が続いている

世帯人員の平均は2.3人で、昭和55年度調査開始以来、減少が続いている。最も割合が高い世帯人員は「2人」の47.4%であり、次いで「1人」の21.4%、「3人」の19.7%となっている。22年度調査と比べると、「1人」が2.5ポイント増加している。(図2-1)

図2-1 世帯人員一過去調査との比較



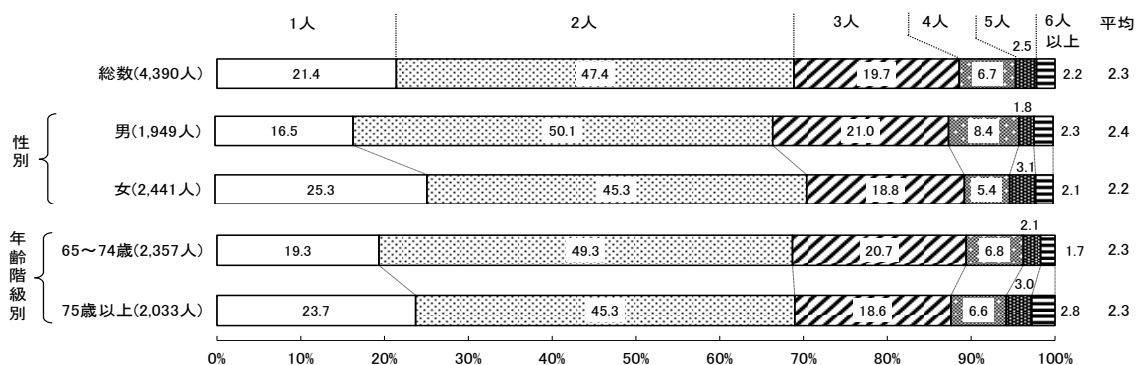
ア 世帯人員一性・年齢階級別

ひとりぐらしの高齢者は、男性では6人に1人、女性では4人に1人

世帯人員を性別でみると、ひとりぐらしである「1人」の割合は、男性16.5%、女性25.3%で、女性の方が8.8ポイント高くなっている。男性は6人に1人、女性は4人に1人がひとりぐらしとなっている。

年齢階級別にみると、「1人」の割合は、前期高齢者(65~74歳)が19.3%、後期高齢者(75歳以上)が23.7%で、後期高齢者の方が4.4ポイント高くなっている。(図2-2)

図2-2 世帯人員一性・年齢階級別



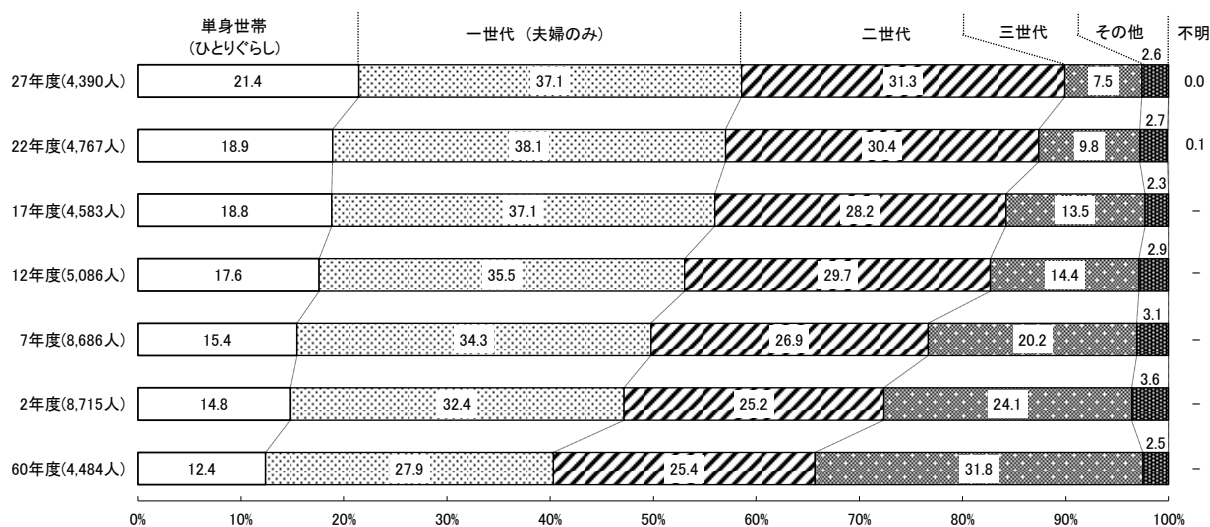
(2) 世帯構成（世代）

三世代世帯は減少が続き、昭和 60 年度調査と比べて 24.3 ポイント減少

世帯構成を世代別にみると、「一世代(夫婦のみ)」の割合が最も高く 37.1%、次いで「二世代」31.3%、「単身世帯（ひとりぐらし）」21.4%となっている。

三世代世帯は減少が続き、昭和 60 年度調査と比べて、およそ 4 分の 1 になった。(図 2-3)

図 2-3 世帯構成（世代）－過去調査との比較



注) 昭和 55 年度は、世代の集計を行っていない。

ア 世帯構成（世代）－性・年齢階級、地域別

75歳以上の「単身世帯（ひとりぐらし）」の割合は、男性で1割超、女性で3割

世帯構成（世代）を性別で見ると、男性は「一世代（夫婦のみ）」の割合が最も高く45.0%、次いで「二世帯〔親と子〕」が30.4%となっている。一方、女性は「二世帯〔親と子〕」の割合が最も高く32.1%、次いで「一世代（夫婦のみ）」が30.8%となっている。

年齢階級別にみると、後期高齢者（75歳以上）の「単身世帯（ひとりぐらし）」の割合は、男性15.3%、女性29.5%で、女性の方が14.2ポイント高くなっている。

地域別にみると、「単身世帯（ひとりぐらし）」の割合は、区部22.8%、市町村部18.6%で区部の方が4.2ポイント高くなっている。一方、「一世代（夫婦のみ）」は、区部34.9%、市町村部41.4%で、市町村部の方が6.5ポイント高くなっている。（表2-1）

表2-1 世帯構成（世代）－性・年齢階級、地域別

	総数	〔単身世帯（ひとりぐらし）〕	〔一世代（夫婦のみ）〕	〔二世帯〔親と子〕〕	二世帯〔親と子〕		〔三世帯〔親と子と孫〕〕	三世帯〔親と子と孫〕		その他	不明	
					本人が親	本人が子		本人が親	本人が子			
総数	100.0 (4,390)	21.4	37.1	31.3	30.1	1.3	7.5	7.1	0.5	2.6	0.0	
性・年齢階級別	男	100.0 (1,949)	16.5	<u>45.0</u>	<u>30.4</u>	29.2	1.2	5.7	5.0	0.7	2.4	-
	65～69歳	100.0 (611)	18.5	42.4	33.1	30.8	2.3	3.3	2.0	1.3	2.8	-
	70～74歳	100.0 (504)	15.9	45.8	29.4	28.2	1.2	5.6	4.4	1.2	3.4	-
	75～79歳	100.0 (417)	17.3	46.0	30.2	30.0	0.2	4.6	4.6	-	1.9	-
	80～84歳	100.0 (254)	12.6	50.4	26.4	25.6	0.8	10.2	10.2	-	0.4	-
	85歳以上	100.0 (163)	14.7	41.1	30.7	30.7	-	11.7	11.7	-	1.8	-
	(再掲) 75歳以上	100.0 (834)	<u>15.3</u>	46.4	29.1	28.8	0.4	7.7	7.7	-	1.4	-
	女	100.0 (2,441)	25.3	<u>30.8</u>	<u>32.1</u>	30.7	1.4	8.9	8.7	0.2	2.8	0.1
	65～69歳	100.0 (647)	19.9	40.0	32.9	28.9	4.0	4.2	3.4	0.8	2.9	-
	70～74歳	100.0 (595)	22.5	37.1	30.3	29.4	0.8	7.6	7.4	0.2	2.4	0.2
	75～79歳	100.0 (515)	25.8	30.5	31.8	31.5	0.4	8.9	8.9	-	2.7	0.2
	80～84歳	100.0 (401)	32.9	20.4	32.7	32.7	-	11.7	11.7	-	2.2	-
	85歳以上	100.0 (283)	31.4	12.0	33.6	33.6	-	18.7	18.7	-	4.2	-
	(再掲) 75歳以上	100.0 (1,199)	<u>29.5</u>	22.8	32.5	32.4	0.2	12.2	12.2	-	2.9	0.1
地域別	区部	100.0 (2,860)	<u>22.8</u>	<u>34.9</u>	32.3	31.0	1.3	7.1	6.6	0.5	2.9	-
	市町村部	100.0 (1,530)	<u>18.6</u>	<u>41.4</u>	29.5	28.4	1.2	8.3	7.9	0.4	2.0	0.1

(3) 世帯類型

「高齢者と子と孫」世帯の割合は、35年前の約5分の1に減少

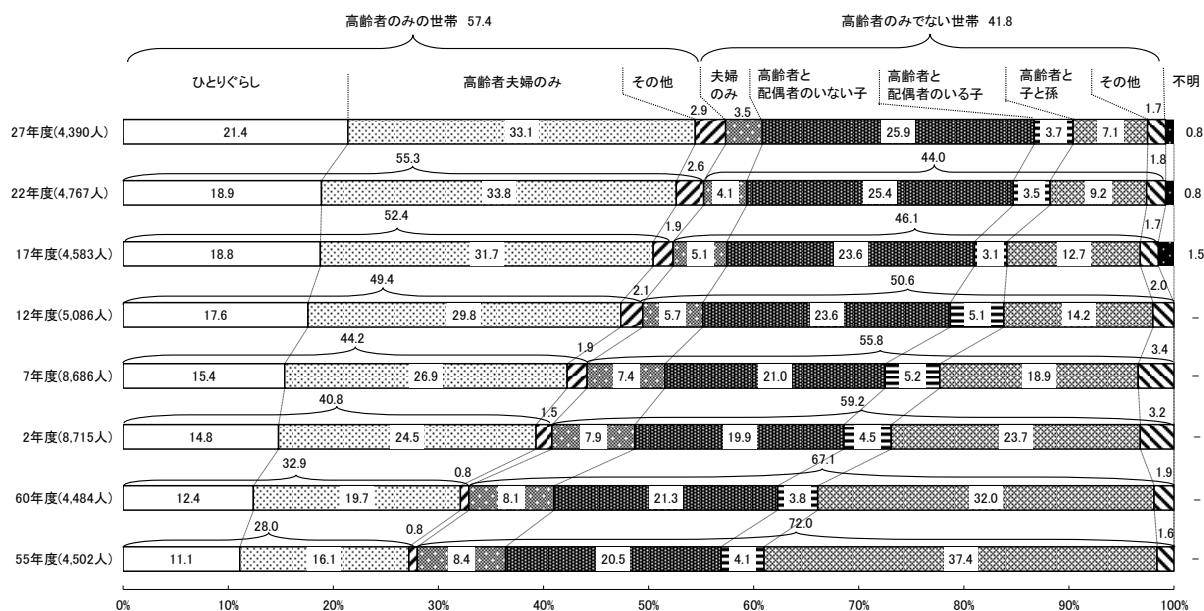
世帯構成を世帯類型別で見ると、「高齢者のみの世帯」の割合は57.4%で、22年度調査と比べて2.1ポイント増加し、調査を開始した昭和55年から一貫して増加し続けている。そのうち、「ひとりぐらし」世帯の割合は、高齢者全体の21.4%を占めている。

「高齢者のみでない世帯」の割合は41.8%で調査開始から減少し続け、「高齢者と子と孫」世帯の割合は昭和55年度調査から30.3ポイント減少し、7.1%であった。

一方、「高齢者と配偶者のいない子」世帯の割合は徐々に増え、25.9%となっている。

(図2-4)

図2-4 世帯類型一過去調査との比較



注) 統計比率を合算した比率は、実数を用いて算出しているため、各比率を単純に合算した比率とは一致しない場合がある。

ア 世帯類型一性・年齢階級別

世帯類型を性別で見ると、「ひとりぐらし」世帯の割合は、男性 16.5%、女性 25.3%で、女性の方が 8.8 ポイント高くなっている。

年齢階級別にみると、「高齢者と配偶者のいない子」世帯の割合は「65 歳～69 歳」が最も高く 29.2%となっている。

また、84 歳以下の年齢階級では、いずれの階級においても「高齢者夫婦のみ」世帯の割合が最も高くなっている（30.4%～38.1%）。85 歳以上では、「ひとりぐらし」世帯の割合が最も高く、25.3%となっている。（表 2-2）

表 2-2 世帯類型一性・年齢階級別

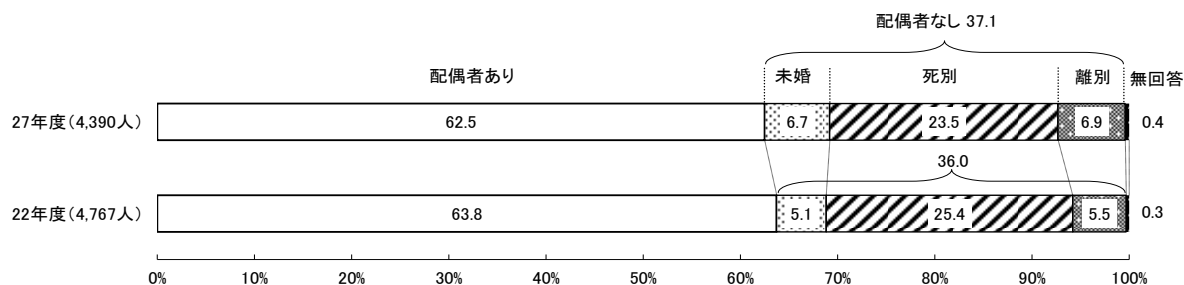
	総数	高齢者のみの世帯	高年齢者			高年齢者のみでない世帯	夫婦のみ	いない子	高年齢者と配偶者のいる子	高年齢者と配偶者のない子と孫	高年齢者と配偶者のいる子と孫	その他	不明
			ひとりぐらし	高年齢者夫婦のみ	その他								
総数	100.0 (4,390)	57.4	21.4	33.1	2.9	41.8	3.5	25.9	3.7	1.6	5.5	1.7	0.8
性別	男 (1,949)	56.7	<u>16.5</u>	37.7	2.6	42.2	6.6	26.5	2.8	0.9	4.2	1.3	1.1
	女 (2,441)	57.9	<u>25.3</u>	29.4	3.2	41.5	1.1	25.4	4.4	2.1	6.6	1.9	0.6
年齢階級別	65～69歳 (1,258)	53.7	19.2	<u>30.4</u>	4.1	45.5	10.3	<u>29.2</u>	1.4	0.8	2.0	1.8	0.8
	70～74歳 (1,099)	59.6	19.5	<u>38.1</u>	2.0	39.1	2.0	26.3	3.0	1.2	4.8	1.8	1.3
	75～79歳 (932)	60.6	22.0	<u>36.9</u>	1.7	38.5	0.1	25.5	4.8	1.6	5.4	1.1	0.9
	80～84歳 (655)	57.7	25.0	<u>31.8</u>	0.9	42.0	0.3	25.3	4.1	2.1	9.0	1.1	0.3
	85歳以上 (446)	55.2	<u>25.3</u>	22.2	7.6	44.6	0.2	16.8	8.5	3.8	12.3	2.9	0.2

(4) 配偶者の有無

「配偶者あり」の割合は、6割

対象者全員に、配偶者の有無について聞いたところ、「配偶者あり」62.5%、「配偶者なし」37.1%となっている。(図2-5)

図2-5 配偶者の有無



ア 配偶者の有無一性・年齢階級別

「配偶者あり」の割合は、男性は77.0%、女性は51.0%

配偶者の有無を性・年齢階級別にみると、「配偶者あり」の割合は、男性77.0%、女性51.0%で、男性の方が26.0ポイント高くなっている。

また、「配偶者なし」の内訳をみると、「死別」の割合は、男性9.3%、女性34.8%で、女性の方が25.5ポイント高くなっている。また、85歳以上の女性では、72.8%となっている。(表2-3)

表2-3 配偶者の有無一性・年齢階級別

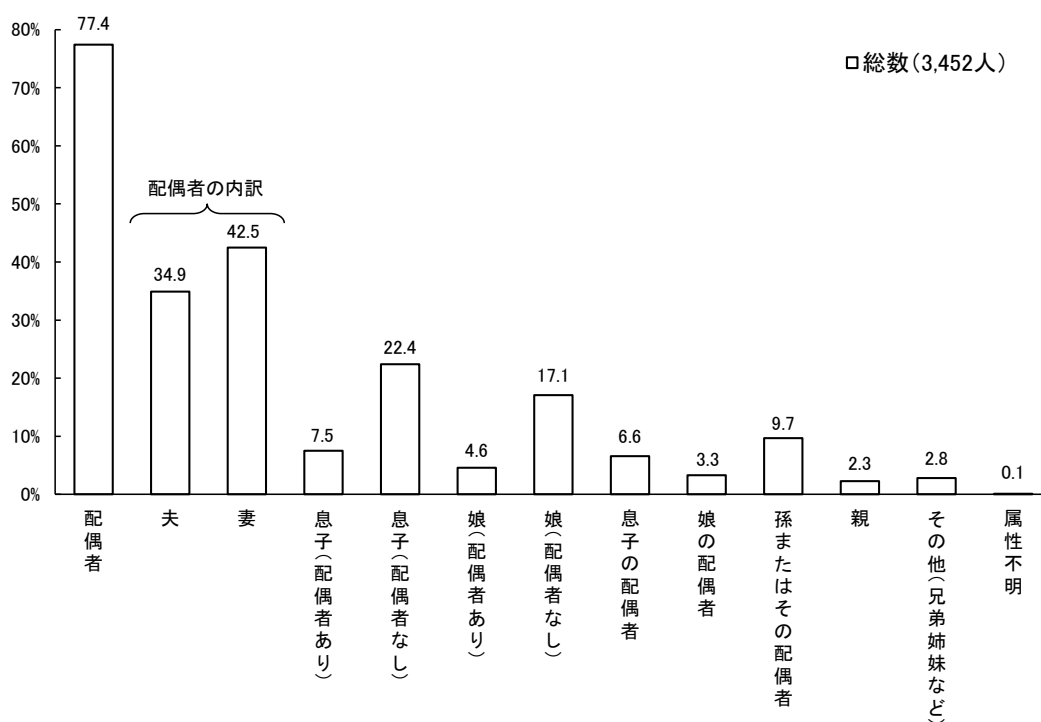
	総数	配偶者あり	配偶者なし	配偶者なし			無回答
				未婚	死別	離別	
総数	100.0 (4,390)	62.5	37.1	6.7	23.5	6.9	0.4
男	100.0 (1,949)	77.0	22.8	7.1	9.3	6.3	0.3
65～74歳	100.0 (1,115)	77.0	22.8	10.0	5.6	7.2	0.2
75～84歳	100.0 (671)	78.1	21.5	3.6	12.2	5.7	0.4
85歳以上	100.0 (163)	71.8	28.2	1.8	23.3	3.1	-
女	100.0 (2,441)	51.0	48.5	6.4	34.8	7.3	0.5
65～74歳	100.0 (1,242)	63.0	36.6	8.0	18.8	9.8	0.5
75～84歳	100.0 (916)	44.3	55.0	5.0	44.9	5.1	0.7
85歳以上	100.0 (283)	19.8	79.9	3.9	72.8	3.2	0.4

(5) 世帯員の状況〔複数回答〕

同居の親族は、「配偶者」の割合が約8割、「息子（配偶者なし）」の割合が2割

家族など同居している人（3,452人）に、一緒に住んでいる人（住居と生計を共にしている方）は誰かを聞いたところ、「夫」と「妻」を合わせた「配偶者」の割合が77.4%で最も多く、次いで「息子（配偶者なし）」が22.4%、「娘（配偶者なし）」が17.1%となっている。（図2-6）

図2-6 世帯員の状況〔複数回答〕



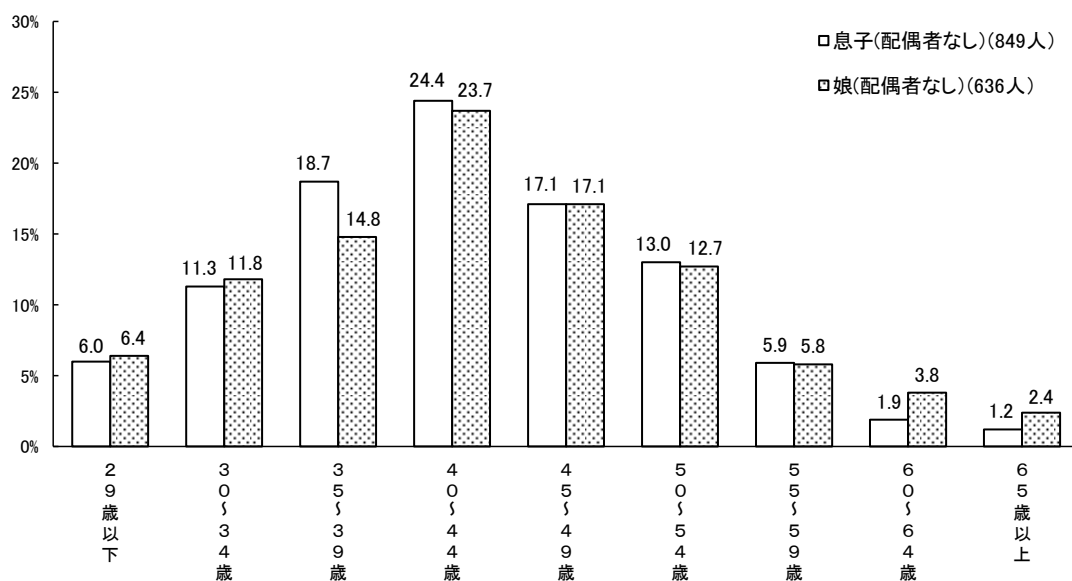
注) 集計対象者は、ひとりぐらしを除く3,452人。

ア 子供（配偶者なし）の年齢階級

配偶者のいない子供の年齢は、息子、娘とも「40～44歳」が最も高い

配偶者のいない子供と一緒に住んでいる人(1,264人)に、配偶者のいない子供(1,485人)の年齢を聞いたところ、息子、娘とも「40～44歳」の割合が最も高く、それぞれ24.4%、23.7%であった。次いで、息子は「35～39歳」の18.7%で、娘は「45～49歳」の17.1%となっている。(図2-7)

図2-7 世帯員の状況（子供（配偶者なし）の年齢階級）



(6) 世帯の就業状況

ア 世帯の就業状況(就業人数)－世帯類型別

「働いている者がいる世帯」の割合は、高齢者のみの世帯が 36.2%、高齢者のみでない世帯が 89.6%

世帯の中で働いている者がいるかどうかをみると、「働いている者がいる世帯」は 58.7%、「働いていない世帯」は 41.1%であった。

世帯類型別にみると、「働いている者がいる世帯」の割合は、高齢者のみの世帯が 36.2%、高齢者のみでない世帯は 89.6%で、高齢者のみでない世帯の方が 53.4 ポイント高くなっている。(表 2-4)

表 2-4 世帯の就業状況(就業人数)－世帯類型別

	総 数	い働 るい 世帯 てい る者 が	1	2	3	4	5	い働 ない 世帯 てい る者 が	無 回 答
			人	人	人	人	人 以上		
総数	100.0 (4,390)	58.7	32.6	18.2	5.9	1.6	0.3	41.1	0.3
高齢者のみの世帯	100.0 (2,520)	36.2	27.3	8.8	0.1	0.0	-	63.3	0.4
ひとり暮らし	100.0 (938)	26.7	26.7	-	-	-	-	72.4	1.0
高齢者夫婦のみ	100.0 (1,453)	41.2	26.8	14.3	-	-	-	58.7	0.1
高齢者のみでない世帯	100.0 (1,835)	89.6	39.9	31.2	14.0	3.8	0.8	10.4	-
夫婦のみ	100.0 (155)	75.5	45.8	29.7	-	-	-	24.5	-
高齢者と配偶者のいない子	100.0 (1,135)	89.3	43.0	29.1	13.8	3.0	0.4	10.7	-
高齢者と配偶者のある子	100.0 (161)	93.2	40.4	34.2	14.3	3.7	0.6	6.8	-
高齢者と配偶者のいない子と孫	100.0 (69)	97.1	37.7	33.3	20.3	5.8	-	2.9	-
高齢者と配偶者のある子と孫	100.0 (242)	98.8	19.8	41.7	23.6	10.3	3.3	1.2	-
その他	100.0 (73)	78.1	46.6	24.7	6.8	-	-	21.9	-
22年度	100.0 (4,767)	57.7	31.6	17.8	6.5	1.4	0.4	42.2	0.0

イ 同居している子供の就業状況

子供と一緒に住んでいる人（1,651人）に、子供の就業状況を聞いたところ、娘（配偶者あり）を除き、「正規の職員・従業員」の割合が最も高くなっている（48.7%～55.2%）。娘（配偶者あり）は、「契約・派遣・臨時・パート」の割合が29.1%で最も高くなっている。（図2-8、図2-9）

また、「仕事に就いていない」の割合は、息子（配偶者なし）16.3%、娘（配偶者なし）15.4%となっている。（図2-9）

図2-8 同居している子供（配偶者あり）の就業状況

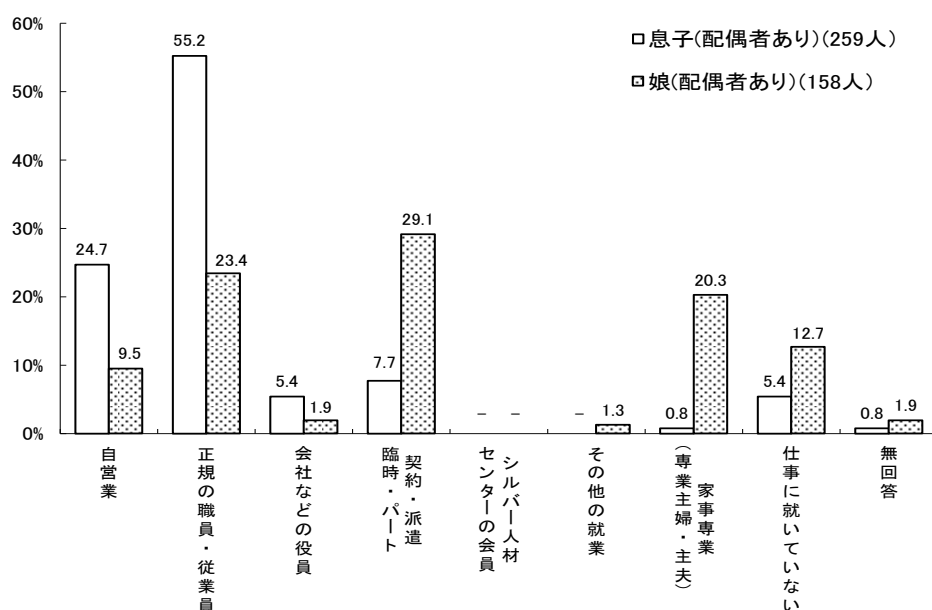
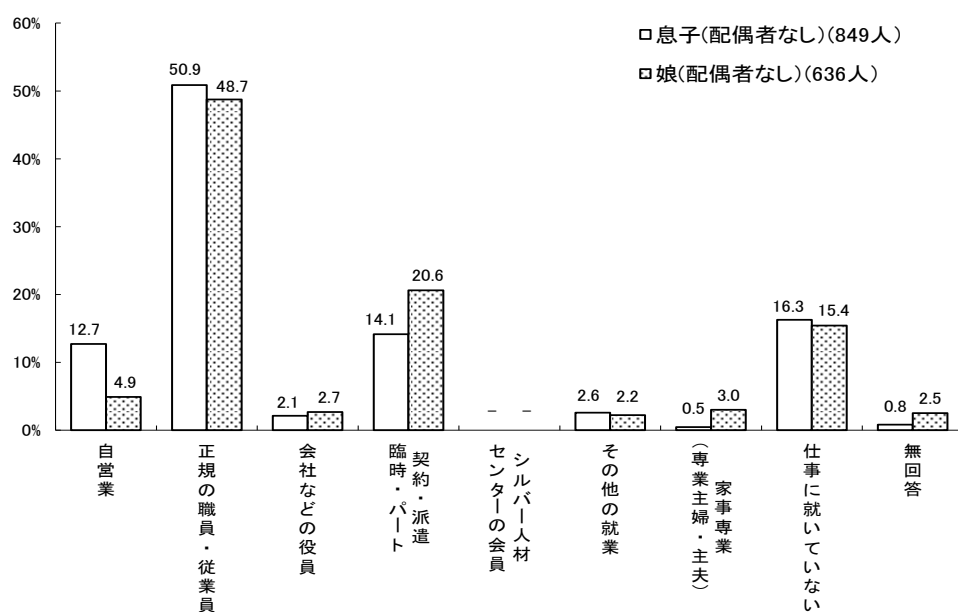


図2-9 同居している子供（配偶者なし）の就業状況



2 子供との関係

(1) 子供の有無・人数

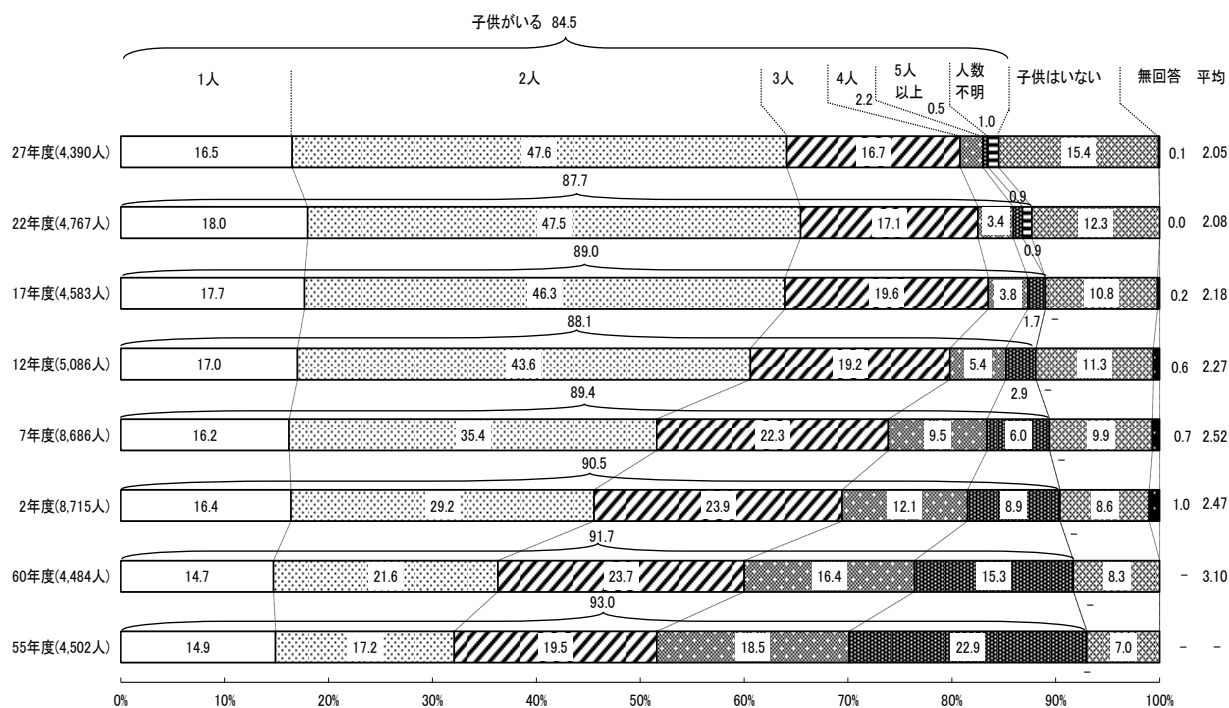
「子供がいる」人の割合は、過去の調査と比較して減少傾向にある

対象者全員に、子供の有無について聞いたところ、「子供がいる」人の割合は 84.5% で、「子供はいない」人の割合は 15.4% となっている。「子供がいる」人の割合は、過去の調査と比較すると減少傾向にあり、昭和 55 年度調査と比べると 35 年間で 8.5 ポイント減少している。

子供の人数についてみると、「2 人」が 47.6%、次いで「3 人」が 16.7%、「1 人」が 16.5% となっている。昭和 55 年度調査と比べると、「2 人」は 30.4 ポイント増加している。一方、「4 人」は 16.3 ポイント、「5 人以上」は 22.4 ポイントそれぞれ減少している。

(図 2-10)

図 2-10 子供の有無・人数—過去調査との比較



注) 統計比率を合算した比率は、実数を用いて算出しているため、各比率を単純に合算した比率とは一致しない場合がある。

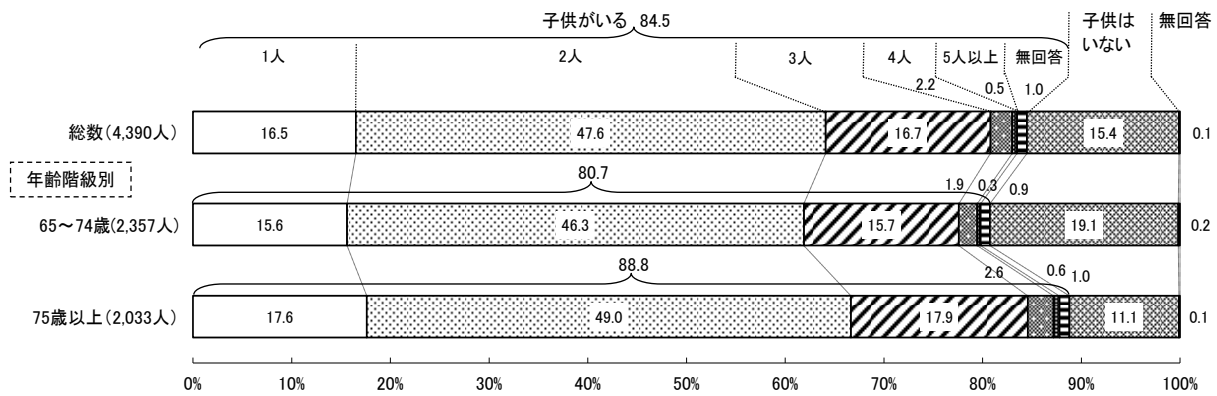
ア 子供の有無・人数一年齢階級、世帯構成(世代)別

単身世帯(ひとりぐらし)では「子供はいない」割合が高く、約4割

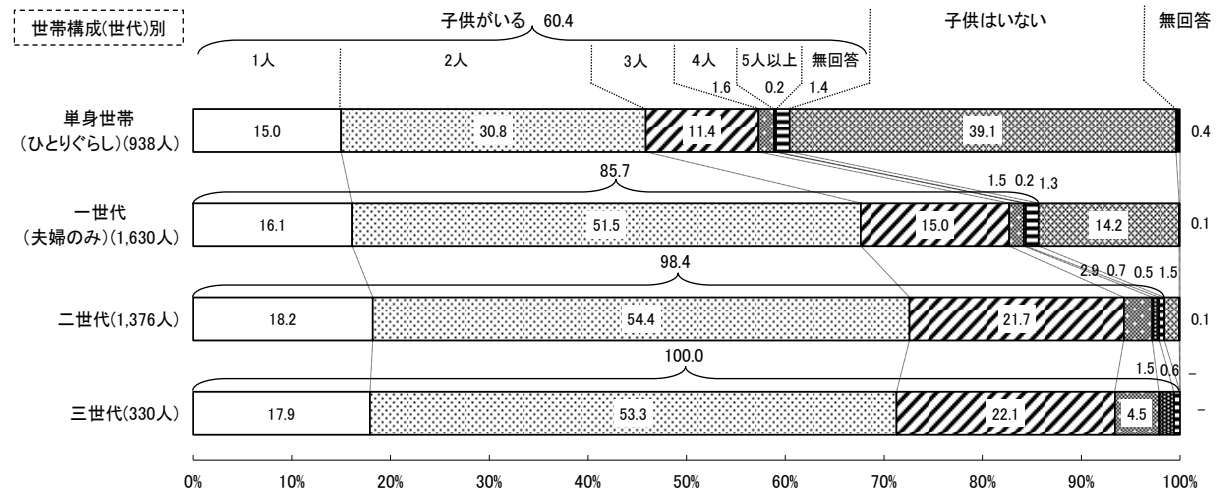
子供の有無を年齢階級別にみると、前期高齢者(65~74歳)では「子供がいる」の割合が80.7%、後期高齢者(75歳以上)では88.8%となっている。

世帯構成(世代)別にみると、単身世帯(ひとりぐらし)では「子供はいない」割合が39.1%で、他の世帯構成に比べて高くなっている。(図2-11)

図2-11 子供の有無・人数一年齢階級、世帯構成(世代)別



注) 統計比率を合算した比率は、実数を用いて算出しているため、各比率を単純に合算した比率とは一致しない場合がある。



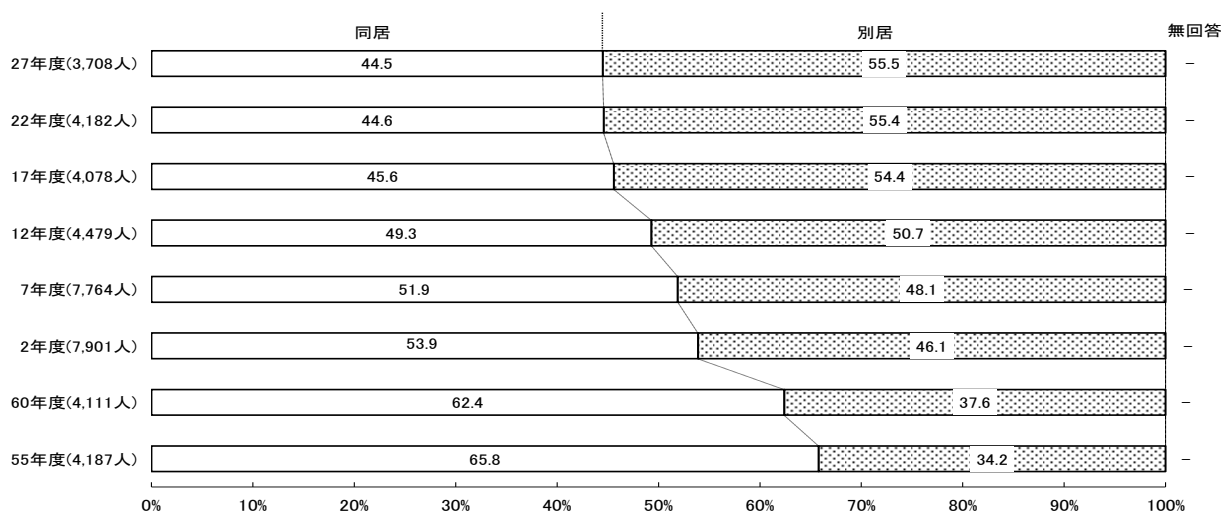
注) 統計比率を合算した比率は、実数を用いて算出しているため、各比率を単純に合算した比率とは一致しない場合がある。

(2) 子供との同居・別居の状況

子供と「同居している」人の割合は、35年間で21.3ポイント減少

子供がいる人(3,708人)に、子供との同居・別居について聞いたところ、「同居」は44.5%、「別居」は55.5%であった。「同居」の割合は、17年度調査以降、ほぼ横ばいであるが、昭和55年度調査と比べると35年間で21.3ポイント減少している。(図2-12)

図2-12 子供との同居・別居の状況—過去調査との比較



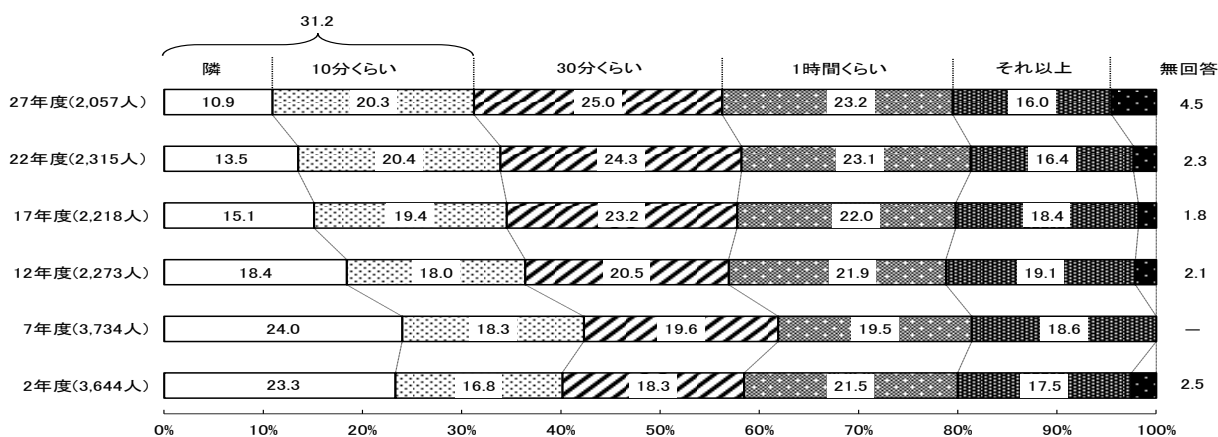
(3) 別居している子供との距離

高齢者の3割は、自宅から10分くらいまでの距離に子供が住んでいる

子供と別居している人(2,057人)に、子供との距離を聞いたところ、「隣」と「10分くらい」を合わせた割合は31.2%で、3割の高齢者が子供のすぐ近くに住んでいる。

2年度調査と比べると、25年間で「隣」は約2分の1に減少している。(図2-13)

図2-13 別居している子供との距離—過去調査との比較



注) 時間は通常行き来する方法による。

(4) 子供の有無及び同居・別居の状況

－地域、動作能力類型、世帯構成（世代）、住宅の種類、子供の人数別

子供と「同居」している人の割合は、寝たきり高齢者が最も高く、57.4%

子供の有無及び同居・別居の状況を動作能力類型別にみると、「同居」している割合は、寝たきり高齢者が57.4%で最も高くなっている。

世帯構成（世代）別にみると、「隣」と「10分くらい」を合わせた10分くらいまでの距離に子供が住んでいる割合は、単身世帯（ひとりぐらし）では18.4%、一世代（夫婦のみ）では27.5%となっている。

住宅の種類別でみると、持家（一戸建て）では「同居」45.1%、「別居」45.6%とほぼ同じ割合になっているが、それ以外の住宅では「同居」より「別居」の割合が高くなっている。

また、子供の人数別でみると、3人までは「別居」が「同居」の割合より高くなっているが、4人以上になると「同居」が「別居」の割合より高くなっている。（表2-5）

表2-5 子供の有無及び同居・別居の状況

－地域、動作能力類型、世帯構成（世代）、住宅の種類、子供の人数別

	総数	子がいる	同居・別居								子はいない	無回答	
			同居	別居	隣	10分くらい	30分くらい	1時間くらい	それ以上	無回答			
総数	100.0 (4,390)	84.5	37.6	46.9	5.1	9.5	11.7	10.9	7.5	2.1	15.4	0.1	
地域別	区部	100.0 (2,860)	82.2	38.1	44.1	5.5	9.4	10.0	10.5	6.3	2.2	17.7	0.1
	市・町・村部	100.0 (1,530)	88.7	36.7	52.0	4.3	9.7	14.9	11.6	9.7	1.8	11.2	0.1
動作能力類型別	寝たきり高齢者	100.0 (115)	87.0	<u>57.4</u>	29.6	3.5	5.2	4.3	5.2	7.0	4.3	12.2	0.9
	寝たきりに近い高齢者	100.0 (247)	84.2	46.6	37.7	5.7	5.7	12.6	6.9	5.3	1.6	15.8	-
	比較的重い障害のある高齢者	100.0 (356)	85.7	41.3	44.4	5.3	8.1	10.4	11.2	7.3	2.0	14.3	-
	軽い障害のある高齢者	100.0 (907)	85.2	36.8	48.4	6.7	9.5	11.0	9.7	8.9	2.5	14.7	0.1
	障害のない高齢者	100.0 (2,665)	84.0	35.5	48.5	4.7	10.4	12.3	12.0	7.4	1.8	15.9	0.0
世帯構成別	単身世帯(ひとりぐらし)	100.0 (938)	60.4	-	60.4	6.8	11.6	14.0	14.4	10.8	2.9	39.1	0.4
	一世代(夫婦のみ)	100.0 (1,630)	85.7	-	85.7	9.3	18.2	22.1	19.8	13.3	3.0	14.2	0.1
住宅の種類別	持家(一戸建て)	100.0 (2,637)	90.7	<u>45.1</u>	<u>45.6</u>	6.8	9.7	10.2	10.0	6.4	2.5	9.3	0.1
	持家(分譲マンションなど)	100.0 (715)	80.0	30.1	<u>49.9</u>	4.9	9.4	13.8	14.0	6.4	1.4	20.0	-
	民間賃貸住宅	100.0 (560)	65.9	23.4	<u>42.5</u>	1.1	8.9	11.6	9.1	10.0	1.8	33.8	0.4
	都・区市町村の公営賃貸住宅	100.0 (245)	82.9	20.4	<u>62.4</u>	1.2	11.0	21.2	15.9	11.8	1.2	17.1	-
子供の人数別	1人	100.0 (726)	100.0	41.6	<u>58.4</u>	3.7	7.0	12.5	15.4	16.9	2.8	-	-
	2人	100.0 (2,088)	100.0	43.5	<u>56.5</u>	6.0	12.3	14.4	13.9	7.8	2.2	-	-
	3人	100.0 (734)	100.0	49.7	<u>50.3</u>	7.9	13.1	13.5	8.7	4.9	2.2	-	-
	4人以上	100.0 (117)	100.0	<u>58.1</u>	41.9	9.4	6.0	13.7	5.1	5.1	2.6	-	-

※動作能力類型は、42頁を参照。

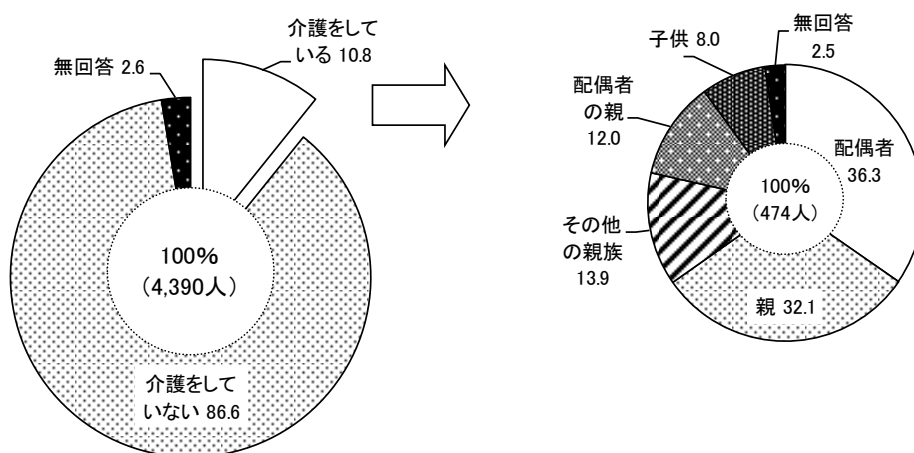
3 介護の状況(対象者本人が介護をしている状況)

調査対象者本人が、同居・別居、時間の長短に関わらず、家族・親族の介護（世話・見守りなどを含む。）をしているかについて聞いた。

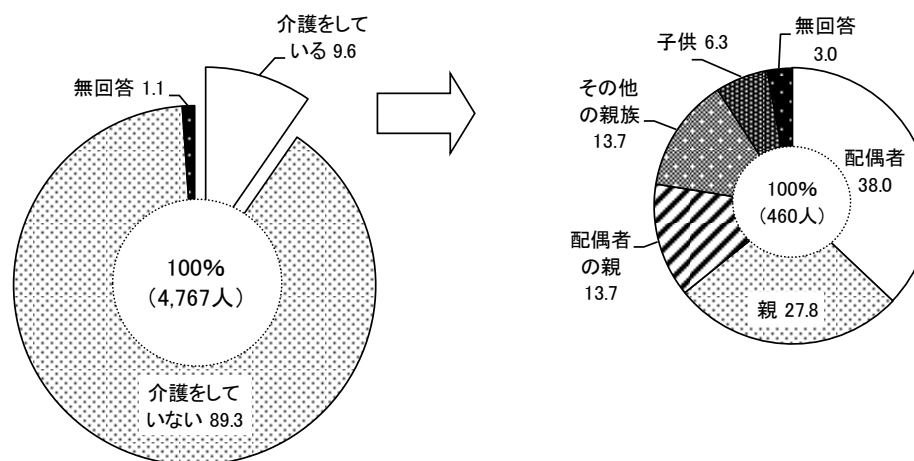
家族の「介護をしている」人の割合は 10.8%、介護の相手は、配偶者が最も多い

「介護をしている」人の割合は 10.8%、「介護をしていない」人は 86.6%となっている。
 また、介護をしている人（474人）に、介護をしている相手について聞いたところ、「配偶者」の割合が最も高く 36.3%、次いで、「親」32.1%、「その他の親族」13.9%、「配偶者の親」12.0%と続いている。（図 2-14）

図 2-14 介護の状況と介護をしている相手〔複数回答〕



22年度



(1) 介護の状況と介護をしている相手〔複数回答〕

一性・年齢階級、配偶者の有無、世帯類型別

「介護している」割合は、65～69歳の女性が最も高く、その相手は「親」が最も多い

介護の状況と介護をしている相手を性・年齢階級別にみると、「介護している」割合は、女性の65～69歳が17.8%で最も高く、その相手は、「親」が9.6%で最も高くなっている。

配偶者の有無別にみると、「介護している」割合は、配偶者ありでは13.8%、配偶者なしでは5.8%で、配偶者ありの方が8.0ポイント高くなっている。

また、世帯類型別にみると、「介護している」割合は、高齢者のみの世帯のうち、ひとり暮らし及び高齢者夫婦のみを除くその他の世帯が34.1%で最も高く、その相手は、「親」が24.0%で最も高くなっている。(表2-6)

表2-6 介護の状況と介護をしている相手〔複数回答〕

一性・年齢階級、配偶者の有無、世帯類型別

	総数	介護をしている	介護をしている相手					無回答	介護をしていない	無回答	
			親	配偶者の親	配偶者	子供	その他の親族				
総数	100.0 (4,390)	10.8	3.5	1.3	3.9	0.9	1.5	0.3	86.6	2.6	
性・年齢階級別	男	100.0 (1,949)	10.0	3.8	1.6	3.2	0.6	0.9	0.3	87.0	3.0
	65～69歳	100.0 (611)	15.1	8.3	4.1	1.3	0.5	1.3	-	81.8	3.1
	70～74歳	100.0 (504)	8.7	4.0	0.8	3.2	0.8	0.6	0.2	89.1	2.2
	75歳以上	100.0 (834)	7.1	0.5	0.2	4.7	0.6	0.8	0.5	89.4	3.5
	女	100.0 (2,441)	11.4	3.2	1.1	4.5	1.1	2.0	0.3	86.3	2.3
	65～69歳	100.0 (647)	<u>17.8</u>	<u>9.6</u>	2.8	2.5	1.2	2.3	0.2	80.2	2.0
	70～74歳	100.0 (595)	10.6	2.0	0.7	4.4	1.2	2.9	0.2	87.6	1.8
	75歳以上	100.0 (1,199)	8.4	0.3	0.3	5.6	0.9	1.3	0.4	89.0	2.6
配偶者の有無別	配偶者あり	100.0 (2,744)	<u>13.8</u>	3.9	1.9	6.3	0.9	1.2	0.3	84.0	2.2
	男性	100.0 (1,500)	11.8	4.1	2.1	4.2	0.8	0.8	0.3	85.8	2.4
	女性	100.0 (1,244)	16.2	3.5	1.8	8.8	1.0	1.8	0.2	81.8	2.0
	配偶者なし	100.0 (1,628)	<u>5.8</u>	2.8	0.2	-	0.9	2.0	0.2	91.4	2.8
世帯類型別	高齢者のみの世帯	100.0 (2,520)	10.3	3.0	1.2	4.6	0.2	1.3	0.4	86.8	2.9
	ひとり暮らし	100.0 (938)	3.7	1.4	0.2	0.1	0.2	1.5	0.4	92.6	3.6
	高齢者夫婦のみ	100.0 (1,453)	12.4	2.1	1.4	7.8	0.3	1.0	0.3	85.5	2.1
	その他	100.0 (129)	<u>34.1</u>	<u>24.0</u>	4.7	0.8	-	4.7	-	59.7	6.2
	高齢者のみでない世帯	100.0 (1,835)	11.6	4.1	1.5	3.0	1.7	1.7	0.2	86.4	2.0